

3 研究のまとめ

(1) 研究の成果

ア 自立活動の時間における、児童生徒の「できる」を増やす授業づくりについて

- ・自立活動の時間における、児童生徒の「できる」を増やす授業づくりの考え方や進め方について具体的に示すことができました。
- ・本研究で考える、自立活動の時間における指導内容の整理の仕方や、本時の目標に対しての到達状況の基準の考え方、評価に基づいた授業改善の内容・方法について提案することができました。
- ・学習内容や到達状況の基準を設定する際の、課題分析やスモールステップを参考にして、学習内容や到達状況の基準などを考える方法を分かりやすく示すことができ、授業づくりに難しさを感じている学校現場の先生方のニーズに応えることができたと考えます。

イ 「授業づくりナビ」や指導事例について

- ・学校現場の先生方が自立活動の時間の授業づくりで困ったり悩んだりした際に、本研究で考えた自立活動の時間における、児童生徒の「できる」を増やす授業づくりの考え方や進め方のポイント、課題分析やスモールステップを参考にして、学習内容や到達状況の基準などを設定する考え方をすぐに確認できる「授業づくりナビ」を作成することができました。
- ・小学校と中学校の自閉症・情緒障害特別支援学級、小学校言語障害通級指導教室における指導事例を示しました。指導事例を通して、児童生徒の「できる」を増やす授業づくりの考え方や進め方について、具体的に示すことができました。
- ・「授業づくりナビ」と指導事例とを見比べながら読むことができる構成にしたことで、学校現場の先生方が児童生徒の「できる」を増やす授業づくりの考え方や進め方について、具体的なイメージをもつことができるようにしました。また、授業づくりを進めていく上で、児童生徒の実態を基に考えることの大切さを示すことができました。

(2) 課題と今後の展望

- ・本研究では、自立活動の時間における指導について、学校現場の先生方の不安を減らすために、自立活動の時間における、児童生徒の「できる」を増やす授業づくりについて研究を進めてきました。自立活動の指導は、児童生徒の実態を基に、個々に応じたオーダーメイドの指導になります。「授業づくりナビ」等で、授業づくりの考え方や進め方のポイントを参考にいただき、児童生徒の「できる」を増やすことを目標に、私たち教師一人一人が高い意識をもって、よりよい授業づくりを行うために学び続けることが大切だと考えます。
- ・「授業づくりナビ」を共通のツールとして、先生方同士の話合いの場で活用していただき、自立活動の時間における、児童生徒の「できる」を増やす授業づくりを進めていただきたいと思います。
- ・今後は、活用の啓発を図るために、児童生徒の「できる」を増やす授業づくりについて、研修講座や学校支援で紹介したいと考えます。